



NEWS RELEASE 関東つくば銀行

平成20年5月26日

太洋工業株式会社様による S & P 「日本 SME 格付け」 継続取得のお知らせ

株式会社 関東つくば銀行（本店：土浦市/頭取：木村 興三）では、平成19年6月1日から格付け取得取次ぎサービスの取扱を開始しておりますが、茨城県内で初めてS & P 「日本 SME 格付け」を取得された、太洋工業株式会社（本社：日立市/代表取締役：渡辺 一史）様が引続き「aa (ダブル・エー) ※」を取得されましたので下記のとおりお知らせいたします。

今後とも当行では、多くの中堅企業が、第三者機関による評価を経営の健全性を示すための指標として利用し、人材の確保や、取引先に対し信頼性を客観的に示すことで、更なる企業価値の向上が図れるよう積極的にサービス提供を行っていくとともに、お客さまのご要望にお応えするため、引続き新しい商品・サービスの開発、提供を通して、取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化に積極的に取り組んでまいります。

記

太洋工業株式会社様は、S & P 「日本 SME 格付け」を県内で初めて取得し、2006年12月期決算にて「aa」を取得しておりましたが、このたび2007年12月決算にて格付けの再取得を行い、前回に引き続き最上位格付けに次ぐ「aa」を取得いたしました。

取得企業	茨城県日立市森山町5丁目8番8号 太洋工業株式会社 代表取締役 渡辺 一史
業種	電気機械器具製造業
取扱金融機関	株式会社 関東つくば銀行
格付け付与機関	スタンダード&プアーズ (STANDARD & POOR'S)
取得格付け	「aa (ダブル・エー) ※」
取得格付けの定義	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は非常に高く、最上位の格付け (aaa) との差は小さい。 ※
取得日	平成20年4月23日
格付け取得による企業メリット	新たな取引先に対して自社の信用力をアピールすることや第三者機関による評価を得ることで透明性の高い経営を分かりやすくアピールすることができる。また、自社の信用力を客観的に把握することが可能となり、財務的な規律強化を通じて、より持続可能性の高い経営・業務運営の追求が可能となる。

以上

<p>本件に関するお問合せ先 関東つくば銀行 総合企画部調査広報室 美留町 (内線342) 営業統括部営業企画G 長谷川 (内線473) TEL 029-821-8111</p>
--

■スタンダード&プアーズ「日本SME格付け」

対象企業	年間売上高10億円～100億円の本邦未上場企業 ※金融業、リース・レンタル業、病院、学校などの業種は対象外
格付け	7段階（小文字のアルファベットで表記 aaa～ccc）
公開方法	S & Pホームページにて公開（ご希望の場合）
取得費用	50万円（次年度継続50万円）
企業メリット	<input type="checkbox"/> 株主・金融機関に対して先進的・透明性の高い経営をアピール <input type="checkbox"/> 取引先・顧客に対して信用力をアピール <input type="checkbox"/> 採用候補者・従業員に対して安定的・継続性をアピール <input type="checkbox"/> 地域社会・世間一般に対して知名度の向上 など

※「日本SME格付け」とは、スタンダード&プアーズ（S & P：米国の格付け機関）と日本リスク・データ・バンク株式会社（RDB）が共同で開発した中堅・中小企業を対象とした格付サービスです。（SME：「Small and Medium-sized Enterprise（中堅・中小企業）」の略）

■格付けの定義

符号	日本SME格付けの定義
aaa	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は極めて高い。スタンダード&プアーズが付与する日本SME格付けのなかで最上級の格付け。
aa	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は非常に高く、最上級の格付け（aaa）との差は小さい。
a	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は高いが、上位2つの格付けに比べ、事業環境や経済状況の悪化からやや影響を受けやすい。
bbb	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力は適切であるが、事業環境や経済状況の悪化によって債務履行能力が低下する可能性がより高い。
bb	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力がやや脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況の悪化に対して大きな不確実性、脆弱性を有しており、状況によっては債務を期日通りに履行する能力が不十分となる可能性がある。
b	日本の中小企業間の比較において、債務を履行する能力が脆弱である。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行する能力や意思が損なわれやすい。
ccc	日本の中小企業間の比較において、現時点で脆弱であり、その債務の履行は、良好な事業環境、財務状況、および経済状況に依存している。事業環境、財務状況、または経済状況が悪化した場合には、債務を履行できない可能性が高い。